

3 . 地域安全学会総会等報告

(1) 総会報告

去る5月13日に、2005年度地域安全学会総会が開催されました。総会出席者は27名、委任状提出者は142名で総会は成立し、2004年度事業報告及び決算報告、2005年度事業計画及び予算、役員
の改選等が報告・審議され、了承されました。あわせて昨年度の地域安全学会論文賞および論文奨
励賞の授与式が行われました。

その内容について、以下に掲載します。

1 . 2004 年度事業報告

地域安全学会が2004年度に実施した事業は下記の通りである。

(1) 総会及び春の研究発表会・公開シンポジウムの開催

(総会実行委員会、研究発表実行委員会)

総会及び春の研究発表会・公開シンポジウムを下記の通り開催した。

日 時：2004年5月28日(金)～5月29日(土)

場 所：紀伊田辺市紀南文化会館

(2) 理事会の開催

2004年度は理事会を下記の通り開催した。

	開催年月日	出席者数	委任状数
第1回	2004年5月28日	17	6
第2回	2004年7月24日	13	4
第3回	2004年9月18日	14	5
第4回	2004年11月5日	13	6
第5回	2005年1月29日	13	5
第6回	2005年3月19日	16	6

(定足数：16名)

(3) 第15回研究発表会の開催(研究発表実行委員会、学術委員会)

第14回研究発表会を下記の通り開催した。

日 時：2004年11月5日(金)～11月6日(土)

場 所：静岡県地震防災センター

発表論文数：論文集46編

梗概集52編

出席者数：202名

(4) 第1回国際都市防災会議の開催(国際都市防災会議実行委員会)

第1回国際都市防災会議を下記の通り開催した。

日時:2005年1月18日(水)~1月20日(金)

場所:六甲アイランド、ベイシェラトンホテル他

(5) 地域安全学会梗概集の刊行(研究発表会実行委員会)

春の研究発表会において「地域安全学会梗概集 No.14」を刊行した。

第14回研究発表会において「地域安全学会梗概集 No.15」を刊行した。

(6) 地域安全学会論文集の刊行(学術委員会)

「地域安全学会論文集 No.6」を刊行し、その論文発表を第15回研究発表会の中で行った。
論文奨励賞(4名)の選出を行った。

(7) 調査・企画委員会の活動

「人と地域の防災戦略研究小委員会」

2004年度前期には3回(第16回-18回)の小委員会を開催した。報告書として、地域安全学会「人と地域の防災戦略小委員会」:「組織の実態調査からみた地域の防災力評価-企業・ボランティア団体・自主防災組織を対象として」を発行予定である。

学会ニュースレターにより新しい小委員会のテーマを募集し、調査の上、次の2つのテーマに決定した。

小委員会A「高度実践防災戦略支援システムの開発」代表 主査:荏本孝久(神奈川大学)
幹事:伊村則子(日本女子大学)

小委員会B「企業の災害時業務継続計画(BCP)の基本的考え方に関する研究」代表
矢代晴実(東京海上日動リスクコンサルティング株式会社)

(担当:調査・企画委員会)

(8) 人材育成システム構築のための特別委員会の活動

3年計画で活動を開始し、2年目の今年度は下記の委員会を開催した。

第1回:2004年9月18日(土)

第2回:2004年12月4日(土)

第3回:2005年3月19日(土)

(9) 会員名簿の改訂発行(事務局)

会員の入退会に伴い、2004年度会員名簿を発行した。

(10) 広報委員会の活動

ニュースレターを下記の通り発行した。

No.44:2004年8月

No.45:2004年10月

No.46:2005年2月

No.47:2005年4月

ホームページについて

・掲載内容の更新と充実を図った。

(1 1) 会員数及び年会費納入

2004 年度末 (2005 年 3 月 31 日) 現在の会員数及び会費納入状況は下記の通りである。

	会 員 数	会費納入状況		
		過年度分	本年度分	次年度分
賛助会員	1 社		1 社	
正 会 員	570 名	51 名	344 名	1 名
学生会員	101 名	3 名	40 名	

以 上

2 . 2005 年度事業計画

地域安全学会が 2005 年度に計画している事業は下記の通りである。

(1) 総会及び春の一般論文発表会・公開シンポジウムの開催 (総会実行委員会、研究発表会実行委員会)

総会及び春の一般論文発表会・公開シンポジウムを下記の通り開催する。

日 時 : 2005 年 5 月 13 日 (金) ~ 5 月 14 日 (土)

場 所 : グリーンピア田老 (岩手県下閉伊郡田老町)

(2) 理事会の開催

2005 年度は理事会を下記の通り開催する。

第 1 回 : 2005 年 5 月 13 日

第 2 回 : 2005 年 7 月 23 日

第 3 回 : 2005 年 9 月 17 日

第 4 回 : 2005 年 11 月 11 日

第 5 回 : 2006 年 1 月 28 日

第 6 回 : 2006 年 3 月 25 日

(3) 第 17 回研究発表会の開催 (研究発表会実行委員会、学術委員会)

第 17 回研究発表会を下記の通り開催する。

日 時 : 2005 年 11 月 11 日 (金) ~ 11 月 13 日 (日)

場 所 : 静岡県地震防災センター

(4) 地域安全学会梗概集の刊行 (研究発表会実行委員会)

春の一般論文発表会において「地域安全学会梗概集 No.16」を刊行する。

第 17 回研究発表会において「地域安全学会梗概集 No.17」を刊行する。

(5) 学術委員会活動

「地域安全学会論文集 No.7」を刊行し、その論文発表を第 17 回研究発表会の中で行なう。
第 17 回研究発表会の論文賞と論文奨励賞の選出を行なう。

(担当 : 学術委員会)

(6) 調査企画委員会活動

小委員会の活動

新たに下記 A、B の小委員会活動を行う。

A : 「企業の災害時における業務継続計画 (B C P) の基本的な考え方に関する研究」

主査 : 矢代晴実

B : 「高度実践防災戦略支援システムの開発」

主査 : 荏本孝久

研究発表会等での研究成果報告、公開研究会の開催等を通じて研究の推進、交流を図る。

(7) G I S 推進特別研究委員会の活動

新たに研究委員会を立ち上げ、委員会活動を行う (委員長 : 佐土原聡)

(8) 人材育成システム構築のための特別委員会の活動

3 年計画の最終年にあたる今年度は、各分科会活動と全体とりまとめを行う。

(9) 会員名簿の改訂と発行

2005 年度会員名簿を発行する。

(1 0) 広報委員会の活動

ニュースレターを下記の通り計 4 回発行する。

No.51 : 2005 年 4 月

No.52 : 2005 年 8 月

No.53 : 2005 年 10 月

No.54 : 2006 年 1 月

ホームページについて。

・最新ニュースの掲載と必要な情報の更新を行なう。

3 . 2005 年度地域安全学会役員

2005 年度 地域安全学会役員

会 長	翠川 三郎	東京工業大学大学院 総合理工学研究科
副会長	重川 希志依	富士常葉大学 環境防災学部
副会長	山崎 文雄	千葉大学 工学部 都市環境システム学科
理 事	林 春男	京都大学 防災研究所附属巨大災害研究センター
理 事	佐土原 聡	横浜国立大学大学院 環境情報研究院
理 事	池田 浩敬	富士常葉大学 環境防災学部
理 事	糸井川 栄一	筑波大学 大学院 システム情報工学研究科
理 事	岩田 孝仁	静岡県防災局
理 事	大西 一嘉	神戸大学 工学部
理 事	岡田 成幸	名古屋工業大学大学院 社会工学
理 事	清野 純史	京都大学大学院 工学研究科
理 事	塩野 計司	長岡工業高等専門学校 環境都市工学科
理 事	高梨 成子	(株)防災&情報研究所
理 事	立木 茂雄	同志社大学 社会学部
理 事	塚越 功	慶応義塾大学大学院 政策メディア研究科
理 事	中林 一樹	首都大学東京大学院 都市科学研究科
理 事	長能 正武	災害リスクマネジメント研究所
理 事	廣井 脩	東京大学 社会情報研究所
理 事	宮野 道雄	大阪市立大学大学院 生活科学研究科
理 事	務台 俊介	総務省自治財政局 調整課長
理 事	村上 ひとみ	山口大学大学院 理工学研究科
理 事	村尾 修	筑波大学 大学院 システム情報工学研究科
理 事	目黒 公郎	東京大学 生産技術研究所
理 事	矢代 晴実	東京海上リスクコンサルティング株式会社
理 事	秋山 恵	東京消防庁 防災部
理 事	金谷 裕弘	総務省消防庁 防災課
理 事	大竹 亮	国土交通省都市・地域整備局 まちづくり推進課都市防災対策室
理 事	佐藤 清二	国土交通省河川局 防災課災害対策室
理 事	上総 周平	内閣府 参事官(地震・火山対策担当)
監 事	井野 盛夫	富士常葉大学 環境防災学部
監 事	室崎 益輝	独立行政法人 消防研究所 理事長
顧 問	伊藤 滋	早稲田大学 教授
顧 問	小川 雄二郎	富士常葉大学 環境防災学部
顧 問	梶 秀樹	慶應義塾大学総合政策学部
顧 問	片山 恒雄	独立行政法人防災科学技術研究所
顧 問	亀田 弘行	独立行政法人防災科学技術研究所地震防災フロンティア研究センター
顧 問	熊谷 良雄	筑波大学 大学院 システム情報工学研究科
顧 問	高野 公男	(株)マヌ都市建築研究所
顧 問	濱田 政則	早稲田大学 理工学部
顧 問	村上 處直	早稲田大学 理工学総合研究センター
顧 問	村上 雅也	早稲田大学 理工学総合研究センター
顧 問	吉井 博明	東京経済大学 コミュニケーション学部

4 . 2005 年度の組織・役員・業務分担

(1) 会 長 : 翠川 三郎 (東京工業大学大学院 総合理工学研究科)

(2) 副会長 : 重川 希志依 (富士常葉大学 環境防災学部)

: 山崎 文雄 (千葉大学 工学部 都市環境システム学科)

(3) 理事・監査役・顧問 : 別紙 (2005 年度地域安全学会役員名簿)

(4) 委員会

学術委員会

委員長 : 清野 純史 (京都大学大学院 工学研究科)

副委員長: 高梨 成子 ((株)防災&情報研究所)

秋の研究発表会実行委員会

委員長 : 重川 希志依 (富士常葉大学 環境防災学部)

副委員長: 岩田 孝仁 (静岡県防災局)

総会および春の研究発表会実行委員会

委員長 : 矢代 晴実 (東京海上日動リスクコンサルティング(株))

選挙管理委員会

委員長 : 岩田 孝仁 (静岡県防災局)

副委員長: 長能 正武 (災害リスクマネジメント研究所)

国際都市防災会議委員会

委員長 : 立木 茂雄 (同志社大学 社会学部)

特別委員会 (人材育成システム構築特別委員会、GIS 推進特別研究委員会)

委員長 : 佐土原 聡 (横浜国立大学大学院 環境情報研究院)

副委員長 (人材育成) : 重川 希志依 (富士常葉大学 環境防災学部)

副委員長 (GIS 推進): 立木 茂雄 (同志社大学 社会学部)

調査企画委員会

委員長 : 村上 ひとみ (山口大学大学院 理工学研究科)

副委員長: 矢代 晴実 (東京海上日動リスクコンサルティング(株))

受託研究運営委員会

委員長 : 中林 一樹 (首都大学東京大学院 都市科学研究科)

副委員長: 糸井川 栄一 (筑波大学大学院 システム情報工学研究科)

広報委員会

委員長 : 池田 浩敬 (富士常葉大学 環境防災学部)

副委員長: 村尾 修 (筑波大学 大学院 システム情報工学研究科)

表彰委員会

委員長 : 村尾 修 (筑波大学 大学院 システム情報工学研究科)

副委員長: 目黒 公郎 (東京大学 生産技術研究所)

20 周年記念行事委員会

委員長 : 山崎 文雄 (千葉大学 工学部 都市環境システム学科)

副委員長: 宮野 道夫 (大阪市立大学大学院 生活科学研究科)

横断的基幹科学技術研究団体連合担当: 林 春男 (京都大学 防災研究所)

日本学術会議担当: 山崎 文雄 (千葉大学 工学部 都市環境システム学科)